

## 冷蔵・冷凍輸送を事業化

富士電機

日本航空

I T E

### 蓄冷プレートで節電・省エネ

富士電機、日本航空、アイ・ティ・イー(以下、I T E)は流通分野における冷蔵・冷凍輸送技術を活用した事業の取り組みを開始することを決めた。富士電機が冷蔵・冷凍商品を保管するショーケースにI T Eが開発、提供している蓄冷プレート「アイスバッテリー」を活用。節電、省エネにつなげる。一方、日航は既に貨物輸送でI T Eの製品を利用して高付加価値サービスを提供している。現段階で富士電機と日航間での直接取引はないものの、3社は蓄冷技術を生かした新たな物流、商流、保管方法を検討する方向性で一致。事業に取り組む。

31日に3社が共同で発表した。富士電機は冷凍、冷蔵ショーケースを製造し、スーパーやコンビニエンスストアに納品している国内最大手。製品はアイスクリームや魚などを保管している。東京電力福島第1原発事故以降、東電管内では計画停電が行われ、今夏も節電が求められている。節電、省エネに取り組みながら冷

蔵、冷凍製品を保管するための方法を模索する中で「アイスバッテリー」に着目した。

積もり依頼を受けているという。一方、日航は昨年と同製品などを活用して医薬品輸送のソリューションサービス「J-Pharma」を展開

同製品は使用枚数によって温度維持時間が変わる。外気温がマイナス20度から8度の範囲で最長120時間、温度を一定に保てる。同製品を冷却時に電力を必要とするものの、実際にショーケースで使用する際には電力は必要ない。また、ドライアイスを使用しないため、CO<sub>2</sub>削減にもつながる。

後に実験を行ってきた。同社の四日市工場でも実験を行っている。現段階で同社とI T E間で正式に納品契約は締結されていないが、I T Eは数千枚単位の見

I T Eのパナカジ・ガルグ社長は台湾の国家機関と共同で2007年7月にI T E台湾を設立し、同8月に日本法人を立ち上げた。製品導入済みおよび予定の主な企業は、日本ではアスクトランスポート、日本航空、全日本空輸のほか、大手の医薬品卸業、ワクチン製造製薬会社、血液検査会社、輸送サービス会社、和菓子会社などがある。

I T Eのアイスバッテリー  
⑤と日航の保冷ボックス



富士電機は、3月末から5月にかけてスーパーのマルエツの越谷店で、閉店

海外では、台湾スターバックス、台湾日通、台湾セブンイレブン、台湾ハーゲンダッツアイスクリーム、台湾T-JOIN(大栄貨運)、台湾赤十字、台湾郵便。